

令和7年3月5日
農林水産部

報道機関各位

令和6年度公益社団法人大日本農会 農事功績表彰受章者の
知事表敬について

このことについて、下記のとおり表敬訪問が行われますので、取材くださるようお願いいたします。

記

- 日時 令和7年3月12日(水) 午後1時40分から
- 場所 県庁5階 知事室
- 令和6年度の受章者（表彰及び功績の概要は別紙のとおり）

しはくじゅゆうこうしょう 紫白綬有功章 くりた こうたろう 栗田 幸太郎 氏（真室川町）

りょくはくじゅゆうこうしょう 緑白綬有功章 おくやま よしお 奥山 喜男 氏（河北町）

たかはし よしあき 高橋 良彰 氏（遊佐町）

【問い合わせ先】

農林水産部農政企画課
総務専門員 佐野 奈津子
TEL:023-630-2420
報道監 農林水産部次長 高橋 和博

大日本農会農事功績表彰について

1 大日本農会農事功績表彰の概要

(1) 公益社団法人大日本農会は、明治14年、「農業の経験や知識の交換を通じて農事の改良発展を図る」ことを目的に、わが国初の全国的な農業団体として創設された。

総 裁：秋篠宮皇嗣殿下

主な事業：農事功績者に対する表彰、調査研究、講演会等の開催

山形支会：会長 阿曾 千一氏

(2) 農事功績表彰の種別及び対象者

りよくはくじゆゆうこうしょう
緑白綬有功章

- ・農業改良の奨励または実行上顕著な功績をあげ、地域農業の発展に貢献するとともに、現に農業経営に従事し、相応の農業所得を得ている者

こうはくじゆゆうこうしょう
紅白綬有功章（本年度は本県から該当なし）

- ・大日本農会またはその支会の活動に対する功績が顕著であると認められる者

しはくじゆゆうこうしょう
紫白綬有功章（本年度本県から初めて受章）

- ・緑白綬有功章受章から10年以上経過し、受賞後において農事改良の奨励又は実行上、その功績が特に顕著であると認められる者
- ・大日本農会またはその支会の活動に対する功績が特に顕著であると認められる者

(3) 11月14日（木）に東京都内において表彰式が行われた。

2 令和6年度受章者の概要

種別	氏名・年齢 経営の特徴	住所	功績の概要等
紫白綬 有功章	栗田 幸太郎 (70歳) 生産資材生産 販売・肉用牛 複合経営	真室 川町	<ul style="list-style-type: none">・肉用牛の高品質枝肉生産技術の確立と堆肥発酵促進資材の開発により環境保全型農業の推進に貢献。緑白綬有功章受章後も堆肥発酵促進資材を利用した農法（ワーコム農法）の改良・資材開発を進め、環境保全型農業の推進に大きく貢献。・全国指導農業士会会長として農業後継者の育成に尽力。・大日本農会山形支会会長を令和2年から令和5年まで4年間、大日本農会理事を令和4年から2年間務め、会の運営に貢献。
緑白綬 有功章	奥山 喜男 (72歳) 水稲・大豆作 経営	河北 町	<ul style="list-style-type: none">・水稲及び大豆等の複合経営を行い、高性能機械やスマート農業の導入により、低コスト生産と安定した収量・品質を実現。・農用地利用改善組合を設立し、地域の農地集約に尽力。・「つや姫」や「雪若丸」の現地実証圃を担当し、山形県の主力品種の普及、高品質化、さらに「つや姫マイスター」として認定生産者のリーダー的存在としてブランド化に大きく貢献。
	高橋 良彰 (72歳) 水稲・野菜作 複合経営	遊 佐 町	<ul style="list-style-type: none">・地域に適する品目や栽培方法の確立により、パプリカやアスパラガスを地域に普及し、地域農業の発展に貢献。・地域一体での堆肥確保により、土づくりと地域循環型農業を推進。・農業委員会会長として、サツマイモ栽培による遊休農地解消と周年農業を実現